

伊東市教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 令和5年5月22日（月曜日）午後2時30分～午後4時
- 2 場 所 伊東市役所高層棟8階大会議室
- 3 出席者 教育長 高橋 雄幸 委 員 村上 恵宏
委 員 沼田 芳美 委 員 遠山 泰範
委 員 辻 恵
- 4 参 与 教育部長 浜野 義則 次長兼教育総務課長 杉山 宏生
教育指導課長 関野 耕一 幼児教育課長 鈴木 慎一
生涯学習課長 山下 匡弘
- 5 事務局 教育総務課課長補佐 二宮 悠 主事 松岡 翔太
- 6 会議の経過

高橋教育長：ただ今から伊東市教育委員会5月定例会を開会する。議事に先立ち事務局から報告を行う。

（事務局から出欠報告及び資料確認）

高橋教育長：それでは議事に入る。始めに、令和4年12月から令和5年2月までの定例会会議録の確認を行う。修正点等はあるか。

（委員より修正点の指摘）

高橋教育長：会議録を一部修正し、承認してよろしいか。

（異議なし）

高橋教育長：承認が得られたので、令和4年12月から令和5年2月までの定例会会議録は一部修正のとおり決定する。会議録の署名は村上委員にお願いする。次に、教育長報告を行う。5月定例会教育長報告事項について、主な内容のみ説明を行う。

4月18日 教頭会、歯科医師会長訪問、薬剤師会会長訪問

- 19日 避難所運営訓練見学、伊豆伊東高校校長来庁、天城霊園視察
- 20日 人権擁護委員任命式、第1回生徒指導協議会
- 21日 県教育委員会訪問
- 22日 ITO結びマーケット（さくらの里）訪問
- 24日 市功労者との懇談会、就学援助認定委員会
- 25日 政策会議
- 26日 田方地区教科用図書採択連絡協議会
- 27日 都市教育長協議会総会
- 28日 市PTA連絡協議会総会
- 30日 伊東市少年少女合唱団第46回発表会
- 5月 8日 市教育機関職員試験委員会打合せ、
「こども民謡の会」会長市長訪問同席
- 9日 校長会、第1回東部社会教育振興協議会理事会、
三曲連盟役員来庁
- 10日 政策会議、第69回新型コロナウイルス感染症対策本部会議、
市立幼稚園教育研究会総会、広野保育園保護者より寄附
- 11日 幼稚園長会
- 12日 市立幼稚園PTA連絡協議会総会、伊東市教科等研究員研修会
伊東記者クラブとの情報交換会
- 15日 伊東市育英奨学選考委員会、「こども民謡の会」会長来庁
- 17日 市教育機関職員試験委員会
- 19日 伊東市体育協会代議員会
- 20日 伊東祐親祭り式典・薪能
- 21日 杵太郎会総会

22日 定例教育委員会

以上で報告を終わるが、何か意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

高橋教育長：それでは、各委員からの報告をお願いします。

委員：先日、5月9日に校長会へ参加させていただいた。一昨年は、校長先生1人ずつからお話いただいたが、今年度は4人まとまって要望という形で話があった。基本的には、子どもたちに関わる時間がもっと欲しいという内容だった。多忙ということで、関わる時間が欲しいということだ。まず対島中の荒井校長から、支援員、年々ある程度増やしていただいている様子だが、もっと支援員さんが、特に学習面を教えることができる支援員さんを、という要望があった。それで現在、各学校の支援員さん、例えば、低学年や特別支援など、いろいろな支援員さんがいると思うが、各学校にどういった支援員が配置されているのか把握ができていないので、一覧というような形でまとめていただけたらと思う。そうすると、来年、校長会などで要望があった際に、去年はこうだったが、今年はこの人数を増やしています、と的確に答えることもできるかと思う。それから、南中の濱村校長からは、施設関係の要望をまとめていただいた。特別教室にエアコンがないとのことで、特に理科室で暑いときには40度にもなってしまうということだ。優先順位はどこからと質問をしたら、優先順位は特になく、全教室に欲しいということでしたので、その辺は費用もかかると思うが、そういう要望がありました。それ以外、紙代とか事務用品その辺の予算が少なく、PTA会費から賄っているという話もあった。どの程度まで増やしたらよいかという観点もあるかもしれない。それから、今までは竹の台幼稚園にあった共同学校事務室にパソコンがないというような話もあった。あとは、各学校に留守番電話が欲しいという話があった。もう一つ、濱村先生

からは、教育支援センターのなぎさの評判がいいということだったが、定員と
したら15名のところ、35名ほどになり、施設が狭いという話があった。例
えば川奈小学校の全部とは言わないが、空き教室の利用が可能であれば、都合
が良いとのことだった。また、北中の鈴木校長からは、自分が卒業式に行った
時にも話題となった北中学校の生徒数減少、中学校の統廃合についても展望が
見えれば、という話があった。八幡野小の中西校長からも話があったが、それ
については、自分が言った中で抜けていることを含めて、他の委員からお願い
したい。

委員：支援員については、先生方が教科を教えられる支援員が欲しいと話をさ
れていた。学校の規模が小さくなり、定数が減ったことで、非常勤講師にも制
約があって、教科を教えられる支援員が欲しいとのことだが、元々は正規の教
職員が増えることが大事なのではないかと思った。学校だけではなく、保育園
や幼稚園もそうだが、事務的なことなど、支援員にはやってもらえないことも
多く、仕事が減っていかない。そういったことが多いことから、多忙も解消さ
れないのではないか。やはり、正規職員でなければやれない仕事もあることか
ら、ぜひ正規の職員を増やしてあげたいと、強く思いました。それと、教員が
多忙で子どもに向き合えないことから、若い先生が辞めてしまうということが
多いとのことだ。その業務の中に学校徴収金というのがあるのだが、お金を扱
っているということで、先生方がお金を扱わないようにしていただきたいとい
う話があった。振込になったお金もあるとのことだが、やはりお金を扱わない
ような形になれば良いと思った。そして、部活動も同じで、今年は南中学校に
指導員が2人入ったとのことだが、今後、指導員も充実させて欲しいとのこと
だった。これは私個人の意見になるが、指導員が入ることで、先生たちの時間
ができることは良いことだと思うが、生徒と先生の関係で、部活の先生が大好

きで、部活で充実した時間を過ごすことができる生徒もいるのではないかと思う。そういった先生と生徒の関係はどうかと思います、質問してみたところ、先生の仕事が減るほうが重要だとの考えも聞くことができた。校長会長が最後に、要望ばかりになってしまい申し訳ないと話されていたが、良くすることを考える中で、どうしてもお願いや足りないことが出てくると思うので、そういった現実には小中学校が困っていることを聞くことができて良かったと思う。何回か会議を重ねることで、去年はこうだった、その前はこうだったと様子が分かってくるので、続けていただいて、私たちも協力していきたいなと思いました。

高橋教育長：ありがとうございました。答えられる内容については、課長から回答していただきたい。一応、校長会や現場の声は、基本的に要望書をもって受け付けており、その中で、できることできないことを説明し、了解を得ている。また、それとは別に教職員組合からも要望を聞いており、事務局としては実現に向け、努力をしているところである。本当は全部を叶えてあげたいが、どうしても予算があり、優先順位付けをしていかなければならない。次年度に回さなければならぬこともあるが、その場合もお互いに優先順位の了解を得ながらやっている。

関野教育指導課長：今、話のあった中で、支援員につきましては昨年度と同じか若干増えている。3校統合により校数が減っているため、1校あたりでは増加している。委員からご指摘のあった一覧表については、今この場で持ち合わせておりませんが、次回、ご提示できるかと思う。それから、正規職員については、ご指摘のとおりだが、国の定める標準数があるが、県も予算を持ち出して教員をつけている。それでも足りないため、県と市で支援員をつけている。具体的には、市の方では多人数や低学年など項目を理由付けして、予算化して

いるところである。ただ一方で、お金を確保しても、実は今年度、教員や支援員の人を集めるのがやっとという状況である。他の市町では、予算はついたが、人がつけられず欠員という状況もある。この辺は市教委を含めて、今後の課題かと思う。必要な支援員については配置をしていきたいと考えており、正規職員についても、県や国への要望を継続していきたい。それから、教育支援センターのなぎさについては、以前から場所の話題はあり、実際に来ている人数が日によって差がある。少ない時は3人程度しか来ないときがあり、多いときには十数人も来ているときもある。今、鎌田幼稚園が空いているので、センターの要望も踏まえながら、適切な場所を検討しているところである。川奈小についても、以前話題にあがったことはあったが、施設の都合で実現しなかった経緯がある。これから検討を重ねてまいりたい。それから部活動指導員については、今年度中の予定で計画している。外部指導員との違いは、日頃の部活動指導、土日の引率も全てその1人の指導員が行う形であり、コーチとも色合いが異なる。この点、学校と話を合わせずに増やしていくと、ご指摘のあったとおり、学校の先生と生徒の関係にずれが生じ、学校の方針に沿わないケースが出かねないことから、子どもたちの活動の場が担保されるよう、慎重に考えていきたい。また、部活動の多忙化について、現在は年間通じて5時半には帰るよう指導している。以前は6時半など、遅くまで部活動をしていたが、授業の日課を調整するなどして、実施している。まだ、取り組みが十分ではないと思いますので、校長会と議論を重ねる中で、良い方向に話を進めていきたい。

杉山次長兼教育総務課長：施設整備や修繕に関して、基本的にまず最優先されるのは、法令上の安心安全、例えば防火設備、次に施設となるが、エアコン等についても、予算については、1年前から組み立てをしているが、部屋の使う状況が変わり、どうしても後手にならざるを得ない。当初使う予定がなかった

部屋を使うなど、急遽の対応が出来ていない状況である。エアコン1室、80万円から100万円という場合もあり、やはりなるべくつけていきたいと思っている。そこは財政当局との折衝となるので、今後も進めていきたい。学校からは、すべて欲しいとのことだが、ある程度順位付けをしてもらいながら、進めていきたい。同じく、消耗品の予算についても、学校ごとの人数の差異があるので、応じた予算配分を実施しているが、やはり限りがあることから、学校の意見も聞きながら進めていくことになるかと思う。それから、学校徴収金、給食費等については、国の方でも子育て政策の中で、給食費無償化などの話が出ており、その辺も見据えながら、実施していきたい。学校の業務に影響を与えていることは想像しているので、今年はできればシミュレーション等も行つてまいりたい。学校事務でなくなれば、市役所の負担となることから、その辺も市として、いろいろ事務局として考えていきたい。最後に、北中の行方については、教育問題懇話会などが設置される中で、次の統合なども話し合われるものかと思っている。今後、どのようにしていくか、今年度中には方向性も決めていきたい。すぐに統合するなどではなく、今後の方向性を考えていきたい。

委員：学校の集金について、銀行の口座振替をしている学校もあるが、そのやっているやっていないというのは、どういう違いから出てくるのか。

関野教育指導課長：自分が学校にいた経験では、最初は全校手集金でやっていた。あるときの校長会で金融機関にまとめていこうということになったが、校長先生たちも代替わりする中で、足並みがずれていった状況である。その中で、各校と地域の金融機関とで折り合いのついた学校から開設している状況である。具体的には八幡野小、大池小、富戸小あたり銀行口座に、南小は手集金になっていると思う。およそ半分程度の学校が手集金ではないか。それを今後は統一に向け、口座で振込手数料がかなりかかることもあり、いろいろと検討を重ね

てまいりたい。

委員：分かりました。ありがとうございます。

高橋教育長：口座振替については、非常に重要なことだと思う。基本的には、教員は集金をしないように、と教育委員会では話をしているが、なかなか進んでいない学校もある。またその辺、校長会とも話をしながら、教員がお金を触らなくてもいいような整備をしていきたい。

委員：なぎさの移転の話について、先ほど鎌田幼稚園の話も出たが、校長先生たちは、幼稚園の施設は作りが小さく、使いにくいというような話をしていた。

関野教育指導課長：今のご指摘は私も聞いている。幼稚園のサイズ感はやはり小さいが、学校の造り上、廃校の数教室だけを使用していくことが、なかなか難しい。そのような絡みもあって、一番ふさわしいところはどこだろうと探している。安価で、センターが望むような場所が、なかなかない。立地的にも、電車やバスで来る子もいるので、全ての条件を満たすところがないという現状である。

高橋教育長：今後も校長会や教職員組合からの要望はしっかりと聞きながら、できることはやっていきたいと思う。教育委員の皆さんも要望がありましたら、教えていただけたらと思います。ちょっと一点だけ、自分の方から部活動のことについて、ご承知おきいただきたい。現在、合同部活動という枠組みと合同チームという枠組みがある。合同チームは、今年は人数が少ないので一緒にやりましょう、次の年は人数が増えたから離れましょうということが出来る。一方で、合同部活動は、教育委員会が認定する仕組みだが、これは1度チームが結成されると、人数が増えても離れることができない。安易に一緒にすればいいと考えている先生もいらっしゃるが、そうではなくて、県としては、合同部活動とした場合は、基本的には離れることができないと、そういうスタンスを

持っている。その辺を間違えてしまうと大変なので、その辺の理解を深めていけないといけない問題だと思っている。合同部活動については、慎重に考えていきたい。

高橋教育長：次の議題に入る。始めに、報告事項、教報第2号「令和5年度実施 伊東市教育機関職員採用試験について」を議題とする。

（杉山次長兼教育総務課長から資料に沿って説明）

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：先ほど、正規職員について言及したが、本当にたくさん、4人も採用計画があり、幼稚園は多分喜んでいと思います。この人たちが充実して仕事に専念してやってもらえばいいなと思います。

高橋教育長：その他、何か意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

高橋教育長：昨年、教育総務課が、県外の大学、短大に赴き、是非伊東市を受けて欲しいということで、募集要項を置いてきていた。去年は人数がぐっと増えた経過があるので、なかなか難しい問題でもあり、今年、どの程度集まるかわからないが、一所懸命努力しているので、承知していただければと思う。

高橋教育長：以上で報告事項を終了する。次に、その他「各課報告について」を議題とする。

杉山次長兼教育総務課長：令和5年度育英奨学金の選考結果について報告する。5月15日に選考委員会を実施し、新規採用者を決定した。申請26名に対し、22名を採用した。内訳は4年制大学20名、専門学校2名であった。今年も高校生からの申し込みはなかった。この結果、令和5年度の奨学金対象者は、令和4年度までの継続対応者44名と合わせて66名となり、今年度の貸与総額は4,812万円となる。以上です。

関野教育指導課長：教育指導課から生徒指導について報告する。小学校中学校の問題行動から報告させていただく。昨年4月の問題行動発生件数と比べると全体で減少、小学校についてはほぼ変わらず、中学校については大幅に減少している。内容について、小学校では今までもあった、相手が嫌がっていることがわからず、ちょっかいを出し続け、喧嘩になるというケースが見受けられた。また、数人が一人に嫌がらせを行い、エスカレートするケースも見られたことから、それについてはいじめの側面もあり、4月当初ということもあり、組織的な対応、学年内で情報共有をして進めている。この4月の時期は、3校統合も含め、いろいろな不安を感じている保護者が多いので、電話連絡のみではなく、できるだけ面談をするなどして、対応するように話をしている。また、中学校については、いくつかネットトラブルの報告で上がっている。ひどいものになると自校内だけではなく、他校に噂が広がって、他校との繋がりでトラブルになるというケースもある。なかなか見つけにくいケースであることから、学校としては、生徒はもちろん、地域や保護者に対してもアンテナを高くし、対応しているところである。続いて、いじめについては、記録表の作成ということで、ちょっと重要なものは4月2件上がっている。新規は少ないが、今後もいろいろなケースが出てくるので、早期発見、些細なことでもアンテナを高くし、いじめに繋がるような案件は、できるだけ早く対応したい。また、担任一人に任せず、複数の目で見えていけるように徹底したい。最後は不登校について、小学校は、準不登校という30日に満たないケースが去年より少ない状況です。今後、4月以降、だんだん不登校が出てくると思うが、こちらでも初期対応、変化が見られたらすぐに対応していきたい。中学校についても、ほぼ同じか若干少ない感じとなっている。特に小学校から中学校に上がった子が頑張って、少しでも登校しようと意欲が見られる。このゴールデンウィーク明けが一つの勝

負になると思うので、学校は焦らず、気長に、ただ対応は組織的にきちっと対応するよう、先生方に話をしています。以上です。

鈴木幼児教育課長：令和５年度ゴールデンウィーク期間中における保育園休日保育利用人数等について報告する。

（鈴木幼児教育課長から資料に沿って説明）

山下生涯学習課長：新図書館の説明会について、５月２９日の午後７時から、ひぐらし会館で行う予定となっている。事前申込制で、現在、約６０名の申し込みをいただいている。席に余裕があるので、教育委員の皆様にもお越しいただければと思う。６月定例会でも説明会の報告はさせていただくが、お時間があれば、お声がけください。

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：ゴールデンウィークが終わってから、まだ数字には出ていないと思うが、どうしても不登校になる児童生徒が出てくるかと思う。そういった対応を長引かないように、家庭と連携し、早く打っていただければと思う。

高橋教育長：いろいろと話を聞くと、福祉分野も関りを深めないといけないと思っている。そういった場所について、今後も検討していきたい。

委員：伊東小学校の保護者から話を聞くと、新しい学校に疲れている子どもも多いように感じる。特に元西、旭小の子らが、環境が変わり、疲れや緊張感のようなものを感じるとのことだった。これは具体的なことではないが、そういった状況があると知って欲しい。それから、バスについては、その後の経過について、教えていただければと思う。

高橋教育長：子どもの疲れについては、自分も教頭会で話させていただいた。その辺も状況を確認していきたい。バスの件については、教育総務課の職員が毎朝立っており、様子を見ている。自分も時々報告を受けるが、バス会社の方、

用務員、バス停にはシルバー人材センターの方が立って、様子を見ている。バスの中の状況は、空いている席もあるが、大きい学年の子が立っており、自分が聞いたところ、低学年の子を乗せるために立っているとのことだった。そう思った思いやりがバスの中にあるようだ。その辺は子どもなりに考えているのだと思う。伊東駅では保護者からも話を聞いたが、特に大きな要望はない様子だった。今のところ、自分に大きな報告は入ってきていないが、教育総務課でバス会社と話をし、うまくやっていただいていると思っている。

杉山次長兼教育総務課長：今、教育長がおっしゃったように、教育総務課では5月の連休明けを最後に子どもたち、シルバー人材センター、バス会社におまかせをしている状態である。たまに行っても、最早我々が口を出せる余地はないほど、子どもたちの中でルールが出来ており、下手に声をかけない方がいいという雰囲気がある。5月に入り、若干利用者が減ったような印象がある。本来であれば、1台40人程度を想定しているが、利用しなくなった子らがどういった手段で登校しているかは把握していない。それから帰りのバスについてだが、バス会社と話をする中で、年間で大まかな運行計画はできている。現在はバスが最大で7台必要だが、学校の修正案では最大9台となってしまう、それは実現できない内容だった。学校の方で、現状組まれているバスの時間に合わせる調整をする、と話し合いで決定した。また、年度途中の変更もなかなか難しいものですから、来年に向かって、教育委員会とバス会社で調整をしようと考えている。

高橋教育長：バスの件は非常に重要な案件ですので、まだ2か月ですが、やる中で安心安全について最大限配慮しながら続けていきたい。いろいろと教えていただけたらと思います。旭小のバス停を見に行ったが、朝は交通指導員が立って、交差点で保護者が3人ほどボランティアに立っていただいている。そし

て、シルバー人材センターの方が1人ついていて、地域の方に協力していただいていると強く感じている。交通指導員の方と話をしたが、子どもの登校の付き添いで親も来ており、挨拶をして顔見知りになったと話してくれた。そういった意味では、地域の繋がりが安心安全には必要であると思う。競輪場のところは上手にやっていると感じました。

委員：今まですごく準備していただいてきて、大きい問題も特に耳にしません。教育委員会で作ったルールと同時に、今、地域や子どもたちの間のフォローがあると聞いて、社会に出ていく上での大事なことを学んでいるのかと思いました。雨のときにバスの利用者が減っていると話があったが、家族が子どもを送っていった際は、たまたまスタディパーキングが開いていたが、かなり混み合っていたとも聞く。もし、朝の時間だけでも、東側のロータリーを、とも思う。東側のロータリーは通学時間だと入れないですか。

杉山次長兼教育総務課長：入ることはできます。

委員：わかりました。あそこだけでも、スタディパーキングがいっぱいになったときは、車が増えて降ろす場所に困る保護者が多いと聞くので、バスの問題と同時に、保護者の送迎対応も引き続き検討いただければ、ありがたい。

高橋教育長：雨の日に混むということは予想していたが、危険となると非常に良くないので、今の意見も伺って、実現するかどうか調整をしていきたい。あと、雨の話が出たので、今後は、例えば大雨警報が出て、途中で解除された場合などいろいろなケースが出てくると思う。その時の対応も、今後の大きな課題の一つだと思う。そこも今後、話を詰めていかなければならないと思う。大雨もいろいろなケースがあると思う。朝10時までに決定して登校するという事態など、なかなか難しい問題が出てくると、個人的には考えている。教育総務課でもケースを想定して、万全を期しているとは思いますが、少し不安も残る。

杉山次長兼教育総務課長：基本的にスクールバスは、朝から夕方まで1日の契約をしているので、朝の天候で遅れることは対応可能と考えている。帰りについては、状況により、早めた方が良い、通常のままが良いなど、学校と話し合って対応していく。また、ロータリーの件は、東側の利用は危険かと思い、市役所の駐車場を使う使わないは事前の話し合いの上で決定していることかと思う。ただ、保護者の意見として、今後検討の必要があるかと考えている。

委員：伊東小学校についてだが、私も様子を見ていて、一時期子どもたちは疲れているのではと思った。丁度、その頃、広報いとうで子ども2人がいなくなった放送も流れて、学校も大変だと思った。子どもたちもなんらか勘違いがあって、いなくなったのかと思ったが、その時期と比べると、今日も校庭で運動会の練習をしていたが、段々慣れて安定して来たのかなと思いました。それから、駐車場についても、通級の支援員などは旧保健センターの駐車場から来られているようで、いろいろと工夫してやったださっているのだと思った。

高橋教育長：その他全般的に、何か意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

高橋教育長：今後の日程について確認する。

事務局：6月の定例会については、6月23日(金曜日)午後2時30分を予定している。7月の定例会については、7月24日(月曜日)を予定とする。

高橋教育長：以上で伊東市教育委員会5月定例会を終了する。

以上のとおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

教育長 高橋 雄幸

委 員 村上 恵宏

書 記 松岡 翔太